

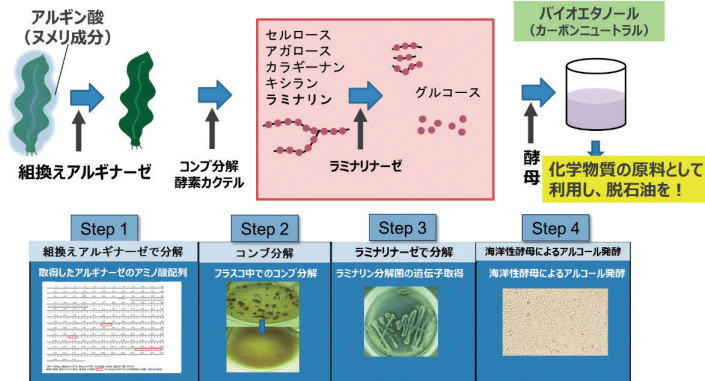
## 研究概要

# コンブを原料としたアルコール生産技術の開発

キーワード 気候変動/海洋バイオマス/コンブ/アルコール発酵/遺伝子工学

地球の気候変動への対応にとまない、日本の脱炭素社会を目指すためにも、日本最大の資源である海洋バイオマスを限活用する必要がある。バイオエタノールの原料となるコンブに着目し、アルコール生産技術を開発する。

コンブのヌメリ成分(アルギン酸)を酵素的に分解し、コンブ分解菌によりコンブを分解する。この分解液に組換えラミナリナーゼを作用させ、得られるグルコースを原料に、海洋性酵母によるアルコール生産を行う。



## 今後の展開やメッセージ

コンブ分解酵素を生産する微生物の分離、ラミナリン分解菌の分離、海洋性酵母の分離を行い、各工程に必要な材料を調製する。最終的に、コンブから効率よくアルコール生産を目指す。

## 研究者情報



袴田 佳宏 教授・博士(工学)

バイオ・化学部 応用バイオ学科  
所属研究所：ゲノム生物工学研究所

三重大学農学部農芸化学科卒。同大学大学院農学研究科修士課程(農芸化学)修了。花王(株)入社、生物科学研究所配属、この間、信州大学にて学位取得(工学)。主任研究員を経て、2006年本学助教就任。2011年教授就任。

研究者情報URL

[https://researchmap.jp/hakamada\\_200006023](https://researchmap.jp/hakamada_200006023)

<https://kitnet.jp/laboratories/labo0169/index.html>

